

若手隊員に聞く！

僕らがここに立つ理由

僕らがここに立つ理由

「元営業マン」、「元整備士」、「元フリーター」。自衛官には、様々な業種からの転職組も少なくない。職を変えるという事は、その人の人生の中でも大きな転換となる。なぜ彼等は「自衛隊」という場所を選んだのか。その声を聞いてみた。

森崎秀徳 三等陸曹の場合

Why are you here?



平成23年3月11日。あの日、流れてきた映像。



森崎 秀徳
Hidenori Morisaki
3等陸曹
第101特科直接支援隊
火器車両整備小隊(湯布院駐屯地)

私生活も充実しています。

僕らがここに立つ理由

現在、入隊して約6年が経過しましたが、この6年の間に、「平成29年7月九州北豪雨」があり、私も災害派遣に出動する機会がありました。流木が、大屋の中にも転がっていた。あの風景を今でもよく覚えていますが、私は後方での支援業務だったので、直接災害現場に出る事はなかったのですが、私が入隊するきっかけとなった「災害派遣」だったので、通常は自動車整備士の資格や、自衛隊に入隊してから取得した大型一種、フォークリフトの免許を活かして各部隊の整備支援を行っています。

どの企業でも人との関わりがありますが、自衛隊の信頼関係は、私が経験してきた職場の中でも一番深い関係だと感じています。会社員の時は一人で仕事をすることが多かったのですが、自衛隊では、ほとんどチームで仕事をします。お互いが助けあうことで、より精度の高い仕事ができると思っています。

趣味はサーフィンです。休暇を利用して、宮崎県まで遠征する事もあります。宮崎は、いい波が来るんですよ(笑)。有給休暇がたくさんあって、趣味や家族サービスに時間を費やせるので、私生活も充実しています。

私は平成17年に大分県の高等学校を卒業した後、愛知県にある自動車整備士の専門学校に入学しました。高校の近くに大きな自動車工場があったことで自動車整備士に関心を持ち、また自動車整備士という職業は、将来無くなることはないだろう、と考えたのが入学の動機です。専門学校卒業後、大分に戻って就職しました。いろいろな車を扱ってみたかったので、中古車販売店を、5、6ヶ所ほど転々としていました。

平成23年3月11日。職場の休憩室でテレビを見ていたら、突如として映像のような映像が流れてきました。「東日本大震災」です。

災害現場で救助活動を行う自衛官の姿をテレビで見ると、当初はただ、「凄いな」という種々のような気持ちしかありませんでした。しかし自分の中で、「こういう時に、誰かを助けられる人間になりたい」といった気持ちが次第に大きくなっていき、たまたま、その転職に勤務していた会社の顧客の中に地方協力本部の人がいて、その人に声をかけられて採用試験を受けました。

これは余談ですが、いきなりの転職でしたが、その時の職場は、あまりの遇が良くなかったので、家族は快く応援してくれませんでした(笑)。



一般企業では経験できないことがたくさんできますよ。

今はたくさんさんの就職先があると思いますが、迷うくらいなら自衛官はどうでしょうか。普段の訓練や業務等が、いざという時には国防や災害派遣等に反映されるので、やりがいがあります！そういう時に動ける自分の姿が、カッコいいと思えるはずですよ！

あと、一般企業では経験できないことがたくさんできます。自衛隊という職場の中には、消防、警備、土木等々、いろいろな職種があるので、きつと何かしら、自分に合った仕事が見つけれれると思います。

男女問わず、カッコいい自衛官を目指しましょう！待っています！



私の母校

日本文学大学附属高等学校

「私の母校は、佐伯市にある「日本文学大学附属高等学校」です。高校の頃は、ラグビー部に入っていました。先輩にあたる選手に、あの、ラグビーワールドカップ日本代表「ブレイブ・ブロッサムズ」の一員である、具智元選手がいます」



募集、イベント、活動状況等、大分地本の最新情報は
大分地本 で検索。